

# 坂中69年のあゆみ

## 昭和20～30年代

### (1) 坂中の誕生

- 昭和22年4月1日 新学制実施に伴い、「徳島県那賀郡坂野中学校」と称し「那賀郡坂野町字根上り16番の1」に坂野教場、「和田島町字山のはな13の1番地」に和田島教場を創立する
- 初代校長 船越茂孝氏赴任 同年5月3日開校する
- 昭和23年2月郷土の特色を表した校章を制定する  
図柄は初代教頭 成川龍達氏が描かれた
- 昭和24年11月 校歌制定する
- 昭和28年4月 二教場を統合する
- 昭和28年9月 生徒綱領を制定する（生徒会の決議）
- 昭和29年3月 卒業生の寄贈により校旗樹立式を行う
- 昭和31年9月30日 町村合併促進法により徳島県小松島市公立学校となり「徳島県小松島市坂野中学校」と改称する

### 坂野中学校生徒綱領

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 私達は正義を愛する   | 1 私達は規則ある生活をする |
| 1 私達は真理を追究する  | 1 私達は礼儀を正しくする  |
| 1 私達は親和協同する   | 1 私達は明朗な心を持つ   |
| 1 私達は自主的に行動する | 1 私達は健康に留意する   |
| 1 私達は責任を重んずる  | 1 私達は清純を愛する    |
| 1 私達は勤労を尊ぶ    |                |

### 坂野教場と和田島教場

戦後、連合軍司令部（GHQ）の指令により、政治・経済・社会制度等、あらゆる面に民主化の波が押し寄せ、諸改革が始まった。教育においても、軍国主義や天皇中心の考え方が改められ、1947年、民主主義教育の基本を示した教育基本法が制定された。また、学校制度も義務教育は、小・中学校までの9年に延長され、高校・大学までの年限は、6・3・3・4制となり、男女共学となった。この新学制の中学校は、校舎・教室の不足、教員確保、教科書等、数々の問題点があった。

坂野中学校においても、昭和22年4月1日に開校の運びとなったものの、和田島小学校の卒業生は、保護者の熱烈な希望により、坂野中学校和田島教場で授業を受けることとなった。和田島町民は、遠い坂野まで行かなくても授業が受けられる様に、和田島小学校に中学校を併設して欲しいと申し出た。町当局は種々協議を重ね、当分の間、和田島教場として小学校にある施設建物等を使用し、授業を実践する運びとなった。保護者もこの措置に納得して、和田島教場の運営に協力を惜しまなかった。当時は、戦後間もないことであり、全国的に中学校教育の必要性の認識が薄かったが、次第に中学校教育の重要性・必要性の理解が高まっていった。当地においても、和田島教場での教育活動を続けることの不利を認めることとなり、昭和23年2学期から、2年生3名の希望者が、先生の勧めで坂野教場へも通い始めた。昭和24年4月1日から、3年生全員が坂野教場へ行くことになった。その結果、和田島の生徒は2か所に別れて授業を受けることとなった。昭和28年3月、和田島教場は廃止され、同年4月1日、全校統合となり、